

(総合的な学習の時間) 学習指導 (活動) 案

【実践者】

【関連する SDGs】 (10, 11)

氏名 西川 佳希

学校名 北海道知内高等学校

学年 (人数) 1 学年 44 名

実施教科 (領域) 総合的な学習の時間 地域創生学習



【実施概要】

1. 単元名 (活動名) : (多文化共生 町の未来を考えよう)
2. 単元の目標 (評価規準を意識して設定) :
<ul style="list-style-type: none"> ・ 知内町において今後考えられる課題について理解する【知識・技能】 ・ 課題についての解決策を考え、グループ内発表する【思考・判断・表現】

3. 単元計画 (全 2 時間)			
時	ねらい	学習活動	資料など
1	SDGs について学ぶ 多文化共生のために僕たちにできることは? やさしい日本語を学ぶ	SDGs カードの正しい組み合わせ 日本に来ている外国人の方々の必要なサポートを知る	やさしい日本語 (JICA 旭川デスク 教員より)
2 本時	知内町において考えられる、 外国からの移住者の方々に対しての課題について理解する	外国からの移住者の方々に対しての課題についての解決策を考案する	

4. 本時の展開 (2 時間目)			
本時のねらい: 知内町において今後考えられる課題について理解し、解決策を考案する			
過程・時間	教師の働きかけ・発問および学習活動	指導上の留意点 (支援)	資料 (教材)
導入 (5分)	前回の授業の振り返り ○SDGs の 17 のゴールアイコンを確認 ○「やさしい日本語」の活動で外国からの移住者に寄り添った支援について学んだことを確認する	・ SDGs の 10, 11 のゴールにつながる取組であることを確認する	PPT 資料提示 ・ SDGs アイコン
展開① (15分)	北海道の東川町、中標津町の取組を学び、知内町では何をすべきかを考えてみる 1 本道における外国人の居住状況を資料から読み取る	・ 色分け地図「北海道の外国人在住状況」を読み取り、全	・ 色分け地図「北海道の外国人在住状況」

<p>展開② (20分)</p>	<p>2 多文化共生に取り組んでいる、町の例を説明</p> <p>1 中標津町の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中標津町の概要と外国人在住状況 ○取組の紹介 <ul style="list-style-type: none"> ・地域イベントへの参画 ・文化交流会の開催 ・アルバイト説明会 等 <p>2 東川町の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○東川町の概要と外国人在住状況 ○取組の紹介 <ul style="list-style-type: none"> ・創設教科「Globe」について ・幼小中高連携の取組 ・町立日本語学校の紹介 ・地域文化と世界の文化を融合させた取組 <p>3 知内町の現状を知る</p> <ul style="list-style-type: none"> ○統計資料「道南地域の全体状況の推移」「道南地域の外国人状況」から知内町の人口動態と外国人居住状況を読み取る <ul style="list-style-type: none"> ・知内町の人口は減少している ・知内町の在住外国人は増加している ○身近な在住外国人について既知の事項や経験を出し合う <ul style="list-style-type: none"> ・自分の家で経営する農園に働きに来ている外国人がいる ・身近に外国人がいて、生活圏で出会うことはあるけれど、話しかけるまではしていない <p>4 知内町の在住外国人への支援について考える</p>	<p>道の状況を概観する ※各生徒の出身市町村を取り上げ、比較しながら概観できるよう留意</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PPTを用いて、中標津町の多文化共生の取組を説明する ・良い取り組みだと思ふことについてメモを取りながら聞くよう指示する（WS「北海道の町の取組について」） ・PPTを用いて、東川町の創設教科「Globe」の取組を説明する ・資料と生徒自身の経験から知内町の外国人の居住状況について考えさせる ・身近な外国人について知っていることや経験したことを想起させる 	<p>PPT資料提示 「中標津町の多文化共生の取組」 WS「北海道の町の取組について」</p> <p>PPT資料提示 「東川町のGlobeの取組」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統計資料「道南地域の全体状況の推移」「道南地域の外国人状況」
	<p>知内町の在住外国人のためにどこで、どのようなサポートが必要でしょうか。どんなことに困っていそうですか。どんなことをしてあげられそうですか。そのために今からどんな準備が必要ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○グループごとに、知内町の在住外国人への支援について話し合い、ワークシートにまとめる ※インターンシップ訪問先毎の班で話し合いを行う ○各班で考えた支援についての発表を聞き合い、交流する 	<ul style="list-style-type: none"> ・WS「あなたならどうする」を使う ※中標津町や東川町の取組も参考にしよう促す ○班で考えた支援について発表させる 	<ul style="list-style-type: none"> ・WS「あなたならどうする」
<p>グループごとに考えた問題を解決できるような企画を考え、ポスターにまとめましょう</p>			

まとめ (10分)	○前の活動をもとにして、グループごとに問題を解決できる企画を考えポスターにまとめる	・ミッションカードを提示する	・ミッションカード
	○グループごとに考えた企画案について発表する	ミッション：グループで意見を出し、問題を解決できるような企画を考えて、ポスターにまとめてください。 ・グループごとに考えた企画を発表させる ※「何のために」「どのように」「どんなことを」について発表できるよう促す	
5.評価規準に基づく本時の評価（評価方法） ・多文化共生に取り組んでいる町の取り組みを学び、ワークシートを使って理解を深めようとしているか ・グループワークに積極的に参加し、自分の考えを伝えようとしているか			
6.資料および外部との連携 理知の杜日本語学校 函館校 木下様より わかりやすい日本語の伝え方 東川町立東川小学校 木村先生より PPT 中標津町 神原様より 中標津町の取り組み JICA 旭川デスク 藪推進員より やさしい日本語 JICA 函館デスク 京野推進員より 道南地域の外国人状況			

【自己評価】

苦勞した点	授業数が少なかったので伝えたい内容を選ぶことが大変でした。
改善点	自分の説明時間をもっと少なくして、生徒が取り組む時間を増やせばよかったです。
成果が出た点	生徒が本当に自分の住む町の外国人に話しかけてみたという話が聞けたことです。
学びの軌跡 (児童生徒の反応・感想文・作文・ノート等)	生徒の反応は、自分が将来一緒に外国人と働いたら彼らの立場に立って考えてあげたいと言っておりました。
授業者による自由記述	今回の研修を活かしていきたいです。
学校内外でSDGs学習・授業実践を広める取り組み	

ミッションカード

- グループで意見を出し、それらの問題を解決できるような企画を考えて、ポスターにまとめてください。(必ず全員の意見を取り入れてください)
- 「何のために」「どのように」「どんなことをする」イベントやプロジェクトなのか明確にしてください!

北海道の町の取り組みについて!

1. 中標津町で分かったこと

--

2. 東川町で分かったこと

--

3. 知内町で分かったこと

--

あなたならどうする？

NAME _____

今回インターンに参加する予定だった企業や訪問先は？()

と一緒に働く外国人の人がいたら、もしくは、利用者、お客さんできたらどうする？

どこで？ どんなサポートが必要？

何に困りそう？どんなことをしてあげられそう？

そのために今からどんな準備が必要？

思いつくことを書いてみて！